

第30回化学と生物シンポジウム

「生命・食糧・環境-バイオテクノロジーは人類に何をもたらすか」

主催：日本農芸化学会

日時：2004年3月27日（土）13:00～17:00

会場：広島県民文化センター 多目的ホール（530人収容）

〒730-0051 広島県広島市中区大手町1-5-3

TEL 082(245)2322, FAX 082(245)2315

交通：■JR・新幹線広島駅から…電車（紙屋町西）バス（紙屋町）で約10分

■広島バスセンターから…徒歩約3分

■広島空港から…リムジンバスでバスセンターまで約60分

■広島西飛行場から…バスで約25分

■広島港（宇品）から…電車、バスで約30分

参加費：無料

プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶

（日本農芸化学会会長・京都大学）熊谷英彦

13:05～13:55

都甲 潔（九州大学・院システム情報科学研究院）味を見分けるセンサー

13:55～14:45

佐藤清隆（広島大・院生物圏科学研究科）食品の美味しさの分子設計とバイオテクノロジー

14:45～15:00 休憩（技術の粋の試食など）

15:00～15:50

佐々木卓治（農業生物資源研究所）イネのゲノム情報のもたらすもの

15:50～16:40

服部正平（理化学研究所／北里大学）ヒトゲノムからヒトを見る

ーはてチンパンジーとどこが違う？

16:40～16:45 閉会の挨拶

（世話人 広島大学）山田 隆

開催世話役： 山田 隆 広島大学大学院先端物質科学研究科教授

〒739-8530 東広島市鏡山1-3-1 Tel/Fax: 0824-24-7752

E-mail: tayamad@hiroshima-u.ac.jp